

世界かんがい施設遺産

あすわがわようすい

足羽川用水

[福井県・福井市]

Asuwagawa Irrigation Canal



江戸時代の高い技術により、現代も広大な農地と地域住民の生活を潤す

■足羽川用水は1,997haの広大な農地をかんがいの幹線水路の総称（7路線、総延長22km）。江戸時代宝永年間（1710年頃）にほぼ現在の形に整備。

■当時としては珍しい合口（ごうぐち）のための堰などを築くとともに、水路の分水地点に定石（じょうせき）を布設し水争いを緩和。当時の測量技術や設計水準の高さが伺い知れる江戸時代の古文書が現存。

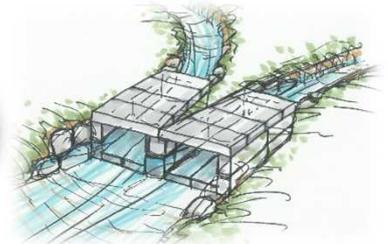
■これまで幾多の災害に見舞われるも、その都度、住民主導で堰堤や水路の補修・改修を実施。地域住民の生活に密着した用水でもあり、用水沿いの街並みと調和した街道や、本用水を引き込んだビオトープ整備など、農業用水を活かした地域活性化の取り組みも盛ん。



両脇の街道とともに用水が流れる町並み



徳光大用水江幅相改証文帳



分水地点に配置された定石
（伝聞による想像図）



伝統行事のおつくね祭り



酒生わいわいトープ

問い合わせ先 足羽川堰堤土地改良区連合 TEL. 0776-41-4132

あすわがわ
足羽川用水

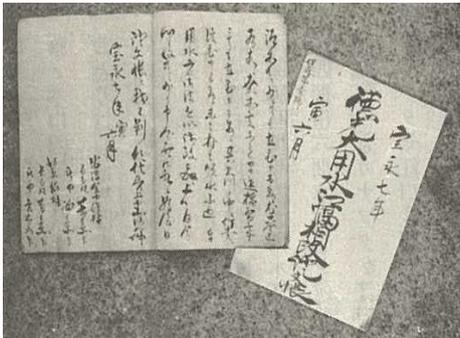
～ 水争いを緩和した用水統合事業 ～

この用水の始まりは7世紀頃に開かれた荘園内の原始的なかんがい水路であると考えられているが、ほぼ現在の形となったのは18世紀初頭である。

18世紀の改修以前は用水系統ごとに取水しており、均等な水配分ができず上下流の水争いが激しかった。そのため、当時の地方行政機関は、複数の用水系統を統合して運用管理する、当時としては珍しい「合口」のための木工沈床による堰堤を建設（1688年）し、併せて、水路底の掘削による過剰な取水を防ぐため、分水地点に四方を強固な石で囲った「定石」を布設し、用水の配分を明確にすることにより水争いを緩和した。この用水には、1710年に行われた水路の測量設計の詳細記録が残されているが、当時の水路幅員や分水量は現代と殆ど変わっておらず、今も安定した用水供給ができていることは、当時の計画・設計水準の高さが伺える。

この用水のおかげで、荘園時代は400haであったかんがい面積は現在の1,997haまで増加し、本地域は県内でも有数の穀倉地帯となった。しかし、本用水は頻りに洪水などの大災害に遭ってきた。その都度住民が上記の堰堤も含めて、住民主導による復旧・補修を行ってきており、その労苦は多大なものだった。例えば、1807年の大水害による被害は関係27村が30年間もかけて復旧している。以降も災害は続くが、1948年の大地震による壊滅的な被害を契機に、更なる「合口」を図って近代的な頭首工が建設され、安定的なかんがいシステムが整備された。

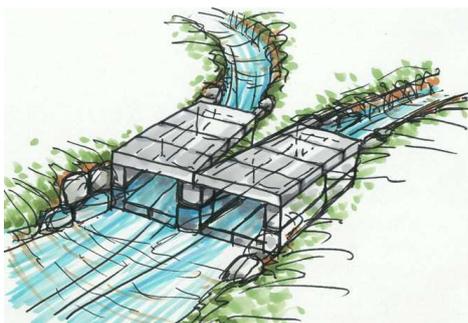
現在は、水管理組織が適切な管理のもとで農業用水を供給している一方、小学生や地域住民などが水を校庭内へ引きこみビオトープを整備するなど、水や緑に親しむ拠点としても活用されている。用水が流れる美しい街並みは日本の著名な小説の題材となり、また、用水にちなんだ伝統行事も開かれているなど、文化的・歴史的価値も高い。



現存する測量設計の詳細記録



用水が流れる美しい街並み



分水地点に配置された定石
(伝聞による想像図)



小学生や地域住民が校庭内に用水を
引き込み造成したビオトープ



日本国内位置図



見つけてみよう！足羽川用水のお宝マップ

あ



郵便差出箱
1号(円形)

あまり見かけなくなった丸型ポスト。現役です。明治41年頃～昭和45年まで主流でした。今は多くが四角いポストに変わりました。

堂

堂田川 やすらぎの景色

堂田川の周りには、なつかしい景色がたくさんあります。どんな出会いがあるか楽しみに歩きましょう。

水

農業用水の ある暮らし

古くから里を流れ、人の生活を支えてきた農業用水。今も変わらないものと変わるもの。時代の中で水と共に暮らす人の知恵が感じられます。

い



除塵機(スクリーン)

農業用水路に入った草木やゴミを取り除く施設。ここから水は地中にもぐり、足羽川の下をくぐって対岸に運ばれます。地中のパイプにゴミが入らないよう入口にスクリーンが設置されています。

す



洗い場

昔は家泊りを流れる用水路に設けられ、洗濯や収穫した野菜を洗うなど農業用水と生活がとても密接な関係がありました。

す



杉玉

杉の葉でできています。日本酒の造り酒屋の軒先に吊るすことで、新酒が出来たことを知らせることから、酒林(さかばやし)とも呼ばれています。

わ



カッパ

堂田川にはカッパがいます。地域の方に愛されて、季節ごとにかわいい衣装に着替えています。

が



7連水門

この水門は、大雨等で開水路内の水量が増加した時に、水路横の地中に埋設してある管水路(パイプライン)に余分な水を放流するために設置されています。

わ



水位計

農業用水路内の水位を測るための施設。水路の主要箇所を設置され、自動で計測されたデータによって、水路内の水深や流量を把握できます。

よ



懸樋(かけひ)

水を引くために地上に設けた樋(とい)。水の上を水が渡る、ちょっと不思議な風景です。

う



大森神社跡鳥居

分神社が大森神社と呼ばれていた頃の跡地に残る大鳥居。田園風景の中に、忽然とそびえる姿は、意表をつかれます。平成11年に福井市の景観重要建造物に指定されました。



足羽川用水 世界かんがい施設遺産登録記念 ウォーキング大会コース【約4km 3時間（各地点での滞在2時間含）】



⑩JR越前東郷駅

(見どころ)
 ・田園風景にマッチした牧歌的な駅舎（※撮影スポット）
 ・県内唯一、架線の無いJR越美北線

①足羽川頭首工

(見どころ)
 ・取水の合口、建屋内見学、川面からの眺望

②旧足羽川頭首工、水車、農業体験施設

(見どころ)
 ・旧足羽川堰堤の保存施設と当時の位置
 ・三連水車、農業体験施設

③導水路、分水施設、酒生サイフォン

(見どころ)
 ・導水路、沈砂池、最初の分水地点
 ・サイフォン入口・出口

④JR越美北線と三ヶ用水

(見どころ)
 ・越美北線橋梁下の通り抜け（※撮影スポット）

⑤青木家屋敷林と三ヶ用水

(見どころ)
 ・青木家の大榎と三ヶ用水の景観
 ・三ヶ用水の水音（青木家前の水路のみ体感可）

(凡例)

	(往路) ウォーキング
	(復路) バス移動

⑧徳光下江用水（堂田川）と酒蔵、⑨堂田川ふれあい橋

(見どころ)
 ・用水を核とした街並み景観
 ・地元酒蔵（安本酒造、毛利酒造）
 ・堂田川ふれあい橋

⑦徳光分水と除塵機

(見どころ)
 ・各路線の水路高の違い、用水路への排水流入のわけ
 ・除塵機の可動状況、集塵の中身

⑥徳光用水と水田

(見どころ)
 ・水路・水田・里山のパノラマ景観

青木家庭園と蘭麝酒

(見どころ)
 ・江戸時代建造の休憩室・鶴亀庭園の見学

背丈程の高さ